

非常持出品・備蓄品

リュックサックなどに入れておき、避難しなければならないときに持ち出す「非常持出品」と、避難後の生活を支える「非常備蓄品」の2段階で準備しておく必要があります。リストを参考に、個人や家庭で必要なものをしっかり準備しておきましょう。

■非常持出品チェックリスト

チェック欄	品 名
貴重品類	現金
	預金通帳
	印鑑
	保険証
	免許証
避難用具	マイナンバーカード(確認証等)
	懐中電灯
	携帯ラジオ
	予備電池
	ヘルメット、防災ずきん
非常食品	乾パン
	缶詰
	栄養補助食品
	アメ、チョコレート
	飲料水
救急用具	救急セット
	お薬手帳等
	常備薬
	生理用品
生活用品	紙おむつ(高齢者用、乳幼児用)
	軍手(厚手の手袋)
	毛布
	缶切り、はさみ等
	ライター、マッチ、ろうそく
	携帯用トイレ
	使い捨てカイロ
	ウェットティッシュ
	筆記用具
	携帯電話(スマートフォン)
衣料品	充電器
	下着、靴下
	長袖、長ズボン
	防寒用ジャケット、雨具

■非常備蓄品チェックリスト

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、自宅で避難生活を送ることや、避難所へ持ち出すことを想定し、3日分の生活に必要な備蓄品を備えておきましょう。

食料や水
最低3日分!
できれば1週間分
×人数分

チェック欄	品 名
飲料水	9リットル(3リットル×3日分)
ご飯(アルファ化米)	4～5食分
ビスケット	1～2箱
板チョコ	2～3枚
乾パン	1～2缶
下着	2～3組
衣類	スウェット上下、セーター、フリースなど



食料品・生活消耗品の備蓄には「ローリングストック法」が有効です。

ローリングストック法とは、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるために消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱うことができます。消費期限を考えながら計画的に消費し、消費した分は新たに購入するようにしましょう。



保存版

広陵町 総合防災マップ



わが家の防災メモ

いざという時の連絡先・安否情報の確認手段などを、家族の間で確認しておきましょう。

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

災害用伝言ダイヤル 「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

171
をダイヤルする

録音する時は 1 をダイヤル

自宅電話番号を
市外局番からダイヤル

録音する

再生する時は 2 をダイヤル

自宅電話番号を
市外局番からダイヤル

再生する



防災情報	避難情報収集	1
	避難行動判定フロー	2
	避難所等一覧	3
風水害	災害の知識	4
	風水害避難の心得	5
備え	風水害日頃の備え	6
	自助・共助・公助	7
地震	揺れやすさマップ	8
	奈良県で想定される地震	9
	地震について	10
	地震時の行動と備え	11
ハザードマップ	洪水浸水想定区域図とは	12
	索引図	13
	洪水ハザードマップ ・浸水想定最大規模 ・家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食・氾濫流)	14~27
	浸水継続時間	28~31
	ため池ハザードマップとは	32
	ため池ハザードマップ	33~41
非常持出品・備蓄品		裏表紙

ハザードマップについて

ハザードマップの目的

「広陵町総合防災マップ」は、本町にお住いの皆さんに想定される災害を知っていただき、いざというときに何をしなければいけないのかを考え、日ごろから災害に備えていただくことが目的です。

この冊子を活用して、災害時に適切な行動がとれるよう、事前に確認してください。

ハザードマップの使い方

1 自宅を見つけましょう

自宅の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。



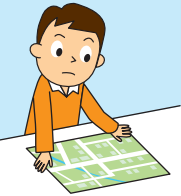
2 避難する場所を確認しましょう

自宅の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。



3 安全な避難経路を決めましょう

自宅から避難所までの避難経路を考えましょう。川・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。



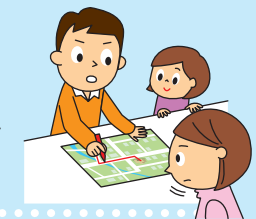
4 実際に避難経路を歩いてみましょう

足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上ではわからない危険が潜んでいるかもしれません。



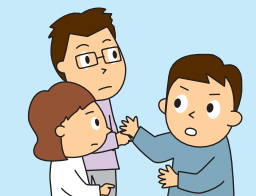
5 家族で話し合いましょう

災害時の行動についてP2避難行動判定フローをもとに家族と話し合い、表紙のわが家の防災メモに書き込んでみましょう。



6 学校や近所で考えましょう

学校や近所で災害について話し合うことも大切です。いざというときは周りの人と協力して避難しましょう。



広陵町総合防災マップ

発行：広陵町

◆お問い合わせ先 広陵町役場 〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583番地1 TEL:0745-55-1001 (代表)
※掲載内容は令和7年3月1日現在のものです。発行後、掲載内容に変更がある場合もありますのでご了承ください。
無断で複写・転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

この地図は、広陵町長の承認を得て、広陵町都市計画図を複製したものである。(承認番号) 令4年度広都第1602号「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-338号」

【お断り】

本文中の地図は2023年1月発行の住宅地図データをもとに作成しております。作成には細心の注意を払い編集作業を行っておりますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面とが一致しない場合があります。また、目標名称などは見易さを優先し正式名称などを一部割愛しております。申し訳ございませんが何卒ご了承くださいませ。よろしくお願い申し上げます。

令和7年3月発行

避難情報収集

■ 水害の避難情報と警戒レベル

- ▶ 市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう
- ▶ 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒 レベル	状 況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				浸水の情報(河川)		土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~						
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・高潮 注意報	2 相当	氾濫注意情報	——
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1 相当	——	——

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

## ● インターネットから

風水害は、最新の気象情報などを入手することで、時期や規模を予想することができます。テレビやラジオの報道に注意し、近所の人々と連絡を取りましょう。特に、インターネットやテレビのデータ放送は、自分の知りたい情報を得ることができるので積極的に情報を集めることができます。



奈良県ホームページ(防災・危機管理)  
<https://www.pref.nara.jp/1825.htm>

気象庁ホームページ(気象庁ホーム)  
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



奈良県ホームページ(砂防・災害対策課)  
<https://www.pref.nara.jp/1681.htm>



気象庁ホームページ(防災情報奈良県)  
[https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=offices&area_code=290000](https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=offices&area_code=290000)



奈良県ホームページ(川の防災情報)  
<https://www.pref.nara.jp/43968.htm>



災害用伝言ダイヤル(NTT西日本)  
<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

## ● 防災無線放送を再度聞きたい場合

☎0745-54-3746(みなしろー)までお問い合わせください。

# 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち  
自宅の災害リスクと**とるべき行動**を  
確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取り組みましょう！**

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
②浸水する深さよりも高いところにいる  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全確保をすること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、**市区町村が指定している指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、**市区町村が指定している指定緊急避難場所**に避難しましょう

# 避難所等一覧

No.	施設・場所名	住 所	洪 水	地 震	大規模な火事	指定避難所	福祉避難所	地図掲載頁（洪水）
1	広陵西小学校	平尾542	○	○	○	●	●	P19、P26
2	広陵東小学校	百済1625-1		○	○	●	●	P20、P22
3	広陵北小学校	弁財天303		○	○	●	●	P15、P20
4	真美ヶ丘第一小学校	馬見南2-1-30	○	○	○	●	●	P19、P26
5	真美ヶ丘第二小学校	馬見北7-1-32	○	○	○	●	●	P16
6	グリーンパレス	笠168	○	○	○	●	●	P22、P25、P27
7	はしお元気村	弁財天295-3		○	○	●		P15、P20
8	大和広陵高等学校	的場401		○	○	●		P15
9	広陵中学校	笠355		○	○	●	●	P20、P25
10	真美ヶ丘中学校	馬見中2-17-32	○	○	○	●	●	P16、P24
11	広陵西体育館	馬見南3-9-15	○	○	○	●		P19、P26
12	広陵東体育館	百済1801-1		○	○	●		P21、P23
13	広陵北体育館	大野546-1		○	○	●		P14
14	真美ヶ丘体育館	馬見北5-13-18	○	○	○	●		P16、P24
15	広陵中央体育館	笠350-1		○	○	●		P20、P25
16	広陵中央公民館	笠382-1		○	○	●		P20、P25
17	総合保健福祉会館	笠161-2	○	○	○	●	●	P19、P22、P25、P27
18	町立図書館	三吉396-1	○	○	○	●		P17、P24
19	広陵運動公園	古寺152		○	○			P20、P22
20	広陵第1号近隣公園	三吉36-2	○	○	○			P17、P20、P25
21	見立山公園	馬見中1丁目7	○	○	○			P17、P24
22	横峯公園	馬見北6丁目8	○	○	○			P16、P24
23	西谷公園	馬見南2丁目13	○	○	○			P19、P26
24	百済寺公園	百済1410		○	○			P23
25	竹取公園	三吉391-1	○	○	○			P14、P17、P24
26	2号児童公園	馬見北4丁目19	○	○	○			P16、P24
27	3号児童公園	馬見北9丁目6-1	○	○	○			P16
28	4号児童公園	馬見北3丁目9	○	○	○			P17、P24
29	5号児童公園	馬見北1丁目4	○	○	○			P17、P24
30	6号児童公園	馬見北2丁目4	○	○	○			P17、P24
31	7号児童公園	馬見中5丁目4	○	○	○			P16
32	8号児童公園	馬見南1丁目4	○	○	○			P19、P26
33	9号児童公園	馬見南3丁目23	○	○	○			P19、P26
34	みささぎ公園	みささぎ台17	○	○	○			P19、P26
35	黒石公園	みささぎ台27	○	○	○			P19、P26
36	牧野史跡公園	馬見北8丁目4	○	○	○			P16
37	大福寺児童公園	的場82-1		○	○			P15
38	石ヶ谷古墳公園	馬見北7丁目1-2	○	○	○			P16
39	馬見南緑地	馬見南1丁目11	○	○	○			P19、P26
40	新山緑地	みささぎ台13	○	○	○			P19、P26
41	東部農村広場	広瀬796		○	○			P15、P21
42	東部地区農業研修センター	広瀬1239		○	○			P15、P20
43	旧エコセンター芝生広場	馬見南3丁目9-30	○	○	○			P19、P26

「避難」とは「難」を「避」けることです。下の4つの行動があります。

1 行政が指定した避難場所への避難



2 安全な親戚・知人宅への避難



3 安全なホテル・旅館への避難



4 屋内安全確保  
既に周辺で災害が発生している場合など、少しでも命が助かる可能性の高い行動として、「緊急安全確保」を行います。



# 災害の知識

## 風水害

### 雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報単語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。 	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。 

### 風の強さと吹き方

平均風速(m/s)	10～15	15～20	20～30	30～40		
おおよその時速	～50km	～70km	～110km	125km～		
風の強さ(予報用語)	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風		
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車	
おおよその瞬間風速(m/s)	20		30	40	50	60
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	屋外での行動は極めて危険。 		

# 風水害避難の心得

## 避難のポイント

### 正確な情報の入手

町防災情報・テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



### 避難する前の確認

避難する前に、電気・ガスなどの火を消し、避難所の位置を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



### 安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけ高い道路を選び、水路などには十分注意しましょう。



### 非常持出品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう。



### 車での避難はよく考えて

緊急車両の妨げにならないよう、また浸水の危険性も考えて車を使いましょう。



### 要配慮者への協力

高齢者や子供などは早めの避難が必要です。一人暮らしの人への声かけを行うなど近所の高齢者等が避難する場合には、協力しましょう。



### 万が一逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。



### 動きやすい服装での避難を

避難するときは、動きやすい服装で2人以上での避難を心がけましょう。



## 水平避難と垂直避難

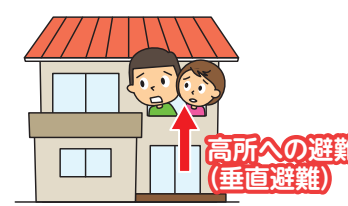
風水害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。

そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行う判断も必要です。

警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

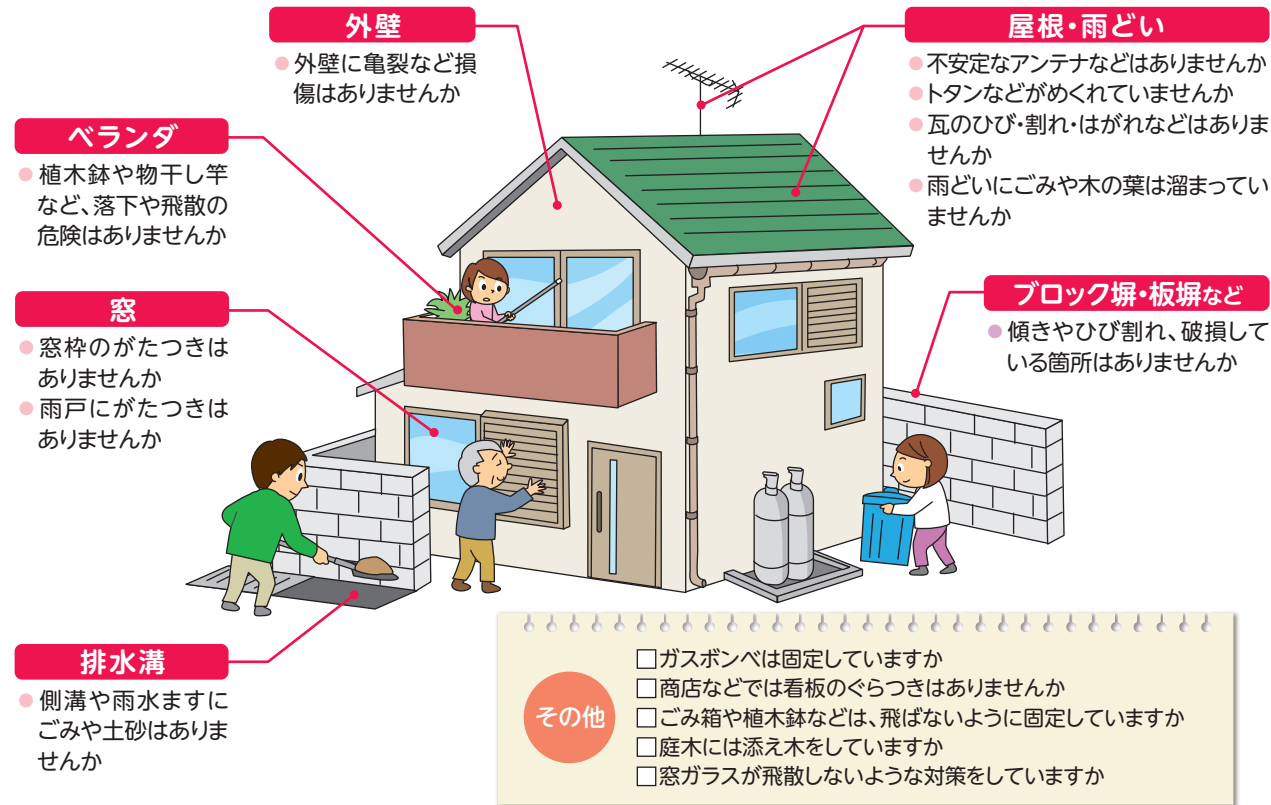
「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は小中学校・公民館等ではありません。安全な親戚・知人宅やホテル、地域外に避難することも考えてみましょう。



# 風水害日頃の備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

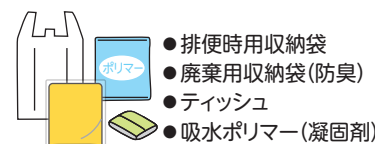


## 災害時、トイレが使えなくなったら…

災害により断水でトイレが使えなくなることが想定されます。最低でも3日分(家族の人数×1日のトイレ回数×3日分)の携帯トイレ、簡易トイレの備えをしておきましょう。

### 携帯トイレ

備蓄されていれば、すぐに使用が可能



### 簡易トイレ

概ね1袋につき数十回使用可能。保管袋、脱臭剤のセットになっていて1セット1000回程度使用可能なものもある。



※凝固剤を使って水分をなくせば、トイレゴミを燃えるごみとして出すことができます。

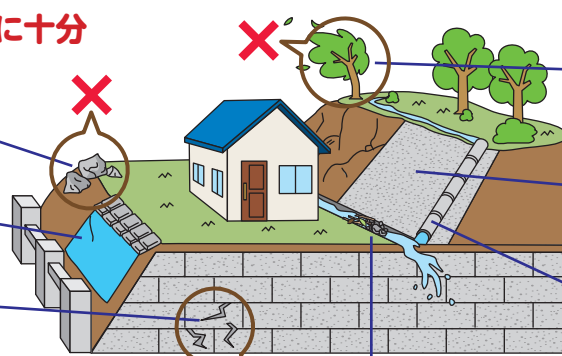
## 家の周りの備え

### 斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

落ちそうな岩や土のかたまりは撤去する。

崩れそうな所は木や板の柵、石積をする。

こわれた石垣などは修理や補強を。



風でゆれる大きな木は地面をゆさぶられないよう枝を切る。

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぐ。

雨水をがけに流さないように水路を造る。

水路はゴミを掃除する。

# 自助・共助・公助

## 自助・共助・公助

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、町民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

### 自助

#### 「自分の身は自分で守る」

飲料水・食料等の備蓄、防災知識・技術の習得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。

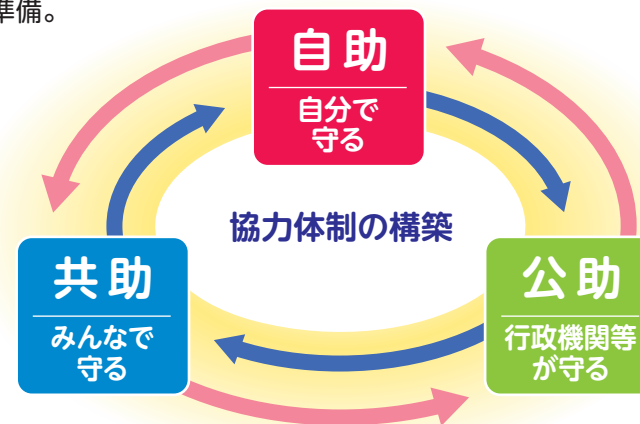
### 共助

#### 「互いに助け合い、被害を減らす」

自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。

### 公助

町、県、国、消防、警察、自衛隊などといった公的機関の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対策活動にあたるよう備えています。



自助・共助・公助の連携が必要です

## 自主防災組織の協力

### 自主防災組織とは

地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

### 平常時の活動

- ① 防災知識の普及啓発
- ② 防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- ③ 防災資機材の備蓄

### 災害時の活動

- ① 地域住民への避難の呼びかけ・誘導
- ② 負傷者の救出・救護
- ③ 初期消火活動
- ④ 避難所の運営

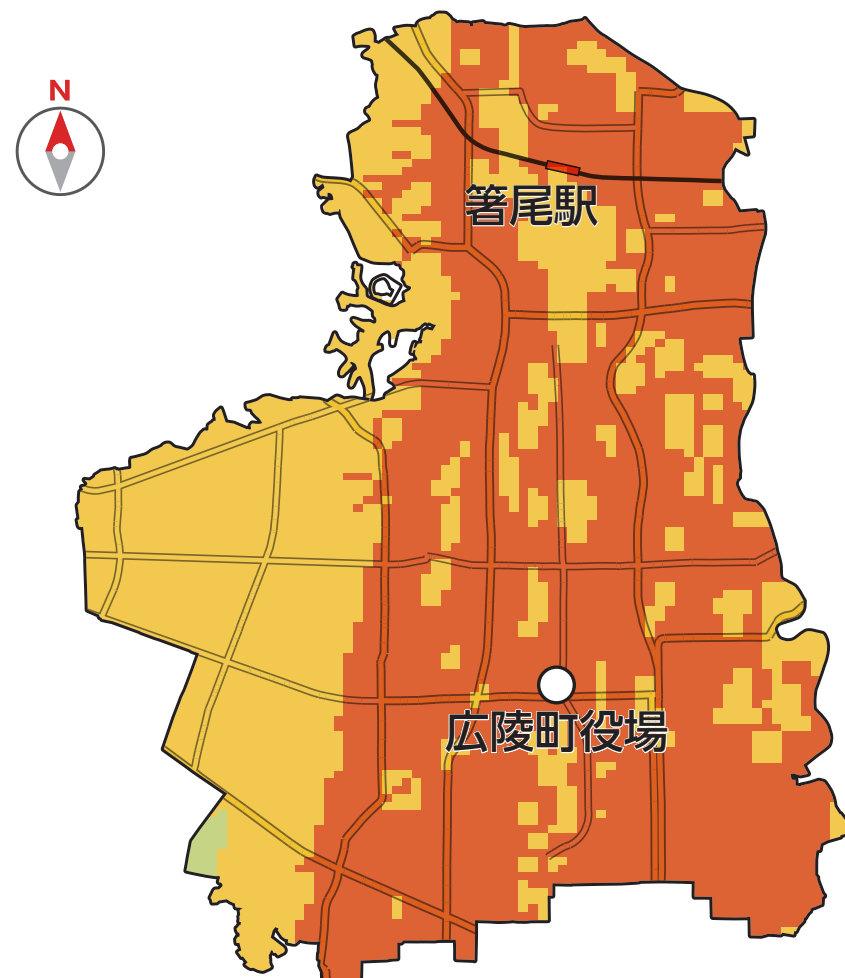
特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、「災害に強いまち広陵町」を作りあげましょう。



自主防災

# 揺れやすさマップ



最大震度	震度界(計測震度)
震度6弱	(5.50-5.99)
震度6強	(6.00-6.24)
震度6強	(6.25-6.49)

## 南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震臨時情報(以下「臨時情報」という。)は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、**想定震源域及びその周辺でM6.8以上の地震の発生や地殻変動など異常な現象が観測されたとき**に臨時情報(調査中)が気象庁より発表され、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の臨時会合が開催され、その調査結果を受けてキーワードを付した臨時情報が発表される。

気象庁が発表する臨時情報は、①臨時情報(調査中)、②臨時情報(巨大地震注意)、③臨時情報(巨大地震警戒)、④臨時情報(調査終了)の4情報で、発表基準は次のとおりである。

① 臨時情報(調査中)	南海トラフ巨大地震の想定震源域及びその周辺において <b>M6.8程度以上の地震が発生</b> 、またはプレート境界面で <b>通常とは異なるゆっくりすべり等を観測した場合</b> 、大規模地震発生との関連性について調査を開始するとき
② 臨時情報(巨大地震注意)	- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、<b>M7.0以上M8.0クラス未満</b>の地震が発生したとき    - 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲において、<b>M7.0以上の地震が発生</b>したとき    - 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、ひずみ計等で有意な変化として捉えられる短い期間に、プレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測されたと評価されたとき
③ 臨時情報(巨大地震警戒)	南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界東側において、 <b>M8.0以上の地震が発生</b> し西側でも地震が続発する後発地震が発生する可能性が高まったと評価が出されたとき
④ 臨時情報(調査終了)	巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価したとき

資料元：内閣府防災情報のページ

# 奈良県で想定される地震

## 内陸型地震

内陸型地震は、奈良県周辺における被害地震発生の履歴及び活断層の分布を踏まえ、8つの起震断層を設定しています。

内陸型地震のうち、①奈良盆地東縁断層帯、②中央構造線断層帯、③生駒断層帯、④木津川断層帯については、政府の地震調査委員会から長期評価が公表されており、今後30年間の発生確率は①と②が「ほぼ0～5%」、③「ほぼ0～0.1%」、④「ほぼ0%」となっています。

### 【8つの内陸型地震の想定震源】



### 【内陸型地震の想定マグニチュード】

対象地震	断層の長さ(km)	想定マグニチュード
①奈良盆地東縁断層帯	35	7.5
②中央構造線断層帯	74	8.0
③生駒断層帯	38	7.5
④木津川断層帯	31	7.3
⑤あやめ池撓曲-松尾山断層	20	7.0
⑥大和川断層帯	22	7.1
⑦千股断層	22	7.1
⑧名張断層	18	6.9

〈参考〉

- 阪神・淡路大震災が発生する直前における30年間の発生確率は0.4～8%
- 交通事故で30年間に死亡する確率は約0.2%
- 火災で30年間に死傷する確率は約0.2%

## 海溝型地震

海溝型地震は、中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」で想定された東海、東南海、南海地震の5つの組み合わせのケースを想定しています。

### 【海溝型地震の対象地震】



### 【海溝型地震の想定マグニチュード】

対象地震	想定マグニチュード
①東南海・南海地震同時発生	8.6
②東南海地震	8.2
③南海地震	8.6
④東海・東南海地震同時発生	8.3
⑤東海・東南海・南海地震同時発生	8.7

出典：第2次奈良県地震被害想定調査報告書

# 地震について

## 震度と揺れ等の状況

### 震度0

- 人は揺れを感じない。



### 震度1

- 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。



### 震度2

- 屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。



### 震度3

- 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。



### 震度4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。



### 震度5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



### 震度5強

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



### 震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



耐震性が高い



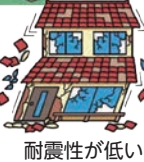
耐震性が低い

### 震度6強

- はわなと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



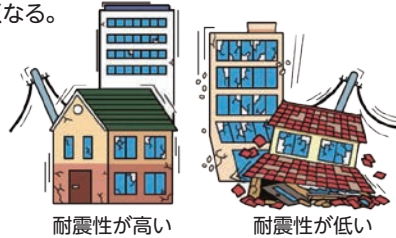
耐震性が高い



耐震性が低い

### 震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



耐震性が高い

耐震性が低い

出典元：気象庁「気象庁震度階級の解説」

# 地震時の行動と備え

## まずは地震への「心の備え」をしましょう

地震から身を守る最大のポイントは、いつ地震が発生してもあわてないように日頃から「心の備え」をしておくことです。ここに示す10のポイントを参考に、どのような行動をとるべきか、覚えておきましょう。

### 地震時の行動(地震発生)

#### 1 グラツときたら身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。



### 地震直後の行動(1~3分)

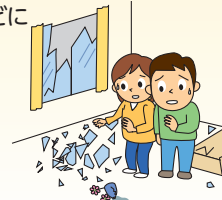
#### 2 落ちついて火の元確認 初期消火

火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。出火した時は、落ちついて消火する。



#### 3 あわてた行動けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



#### 4 窓や戸を開け出口を確保

余震などに備え、避難できるように出口を確保する。



#### 5 落下物あわてて外に飛び出さない

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



#### 6 門や塀には近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



### 地震後の行動(3分~)

#### 7 正しい情報確かな行動

テレビ、ラジオ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



#### 8 確かめ合おう我が家の安全 隣の安否

我が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



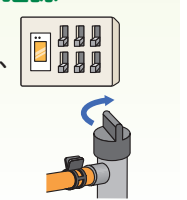
#### 9 協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。

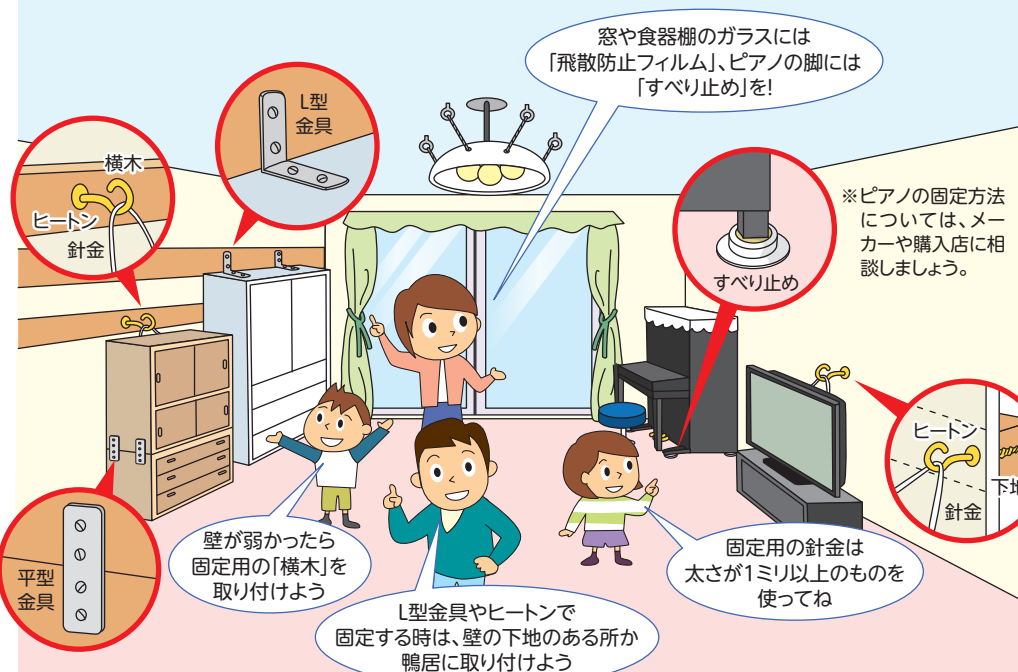


#### 10 避難の前に安全確認 電気・ガス

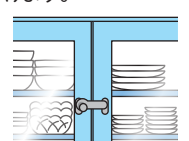
避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



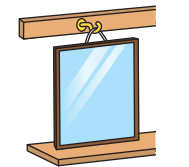
## 耐震対策



開き扉は中の物が飛び出さないよう留め具を付けます。



額は落ちないように鎖や留め具で固定します。



冷蔵庫は転倒防止器具で固定します。

